



# れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) http://www.tch.toyama.toyama.jp / 発行日 2011年3月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

## 感染予防対策は手洗いから

富山市民病院感染予防対策顧問

ICHG研究会 代表 波多江 新平



人の手は日常生活のなかで、公共の場所に触れ自分自身に触れます。医療従事者の手は患者に触れ、医療器材に触れ、自分自身にも触れます。病原体の伝播は空気感染などの特殊な場合を除けば、多くは手指による交差感染が原因です。飛沫感染するインフルエンザも、咳をするときに自分自身の手を口元に持っていくことから、飛沫感染予防対策も手洗いが基本となります。手洗いは、簡単なようで難しくわが国で交差感染予防対策のための手洗いの必要性が示されたのは、1993年頃で、それまでは手洗いの方法や、洗い残しの検証といった項目もありませんでした。手洗いも基礎を習得しないと正しい手洗いができないのが現状です。手洗いの手順に関しては、本院では次第にできる医療従事者が増えつつあります。

近年CDC（アメリカ疾病対策センター）や、WHO（世界保健機関）から手洗いのガイドラインが出ていますが、それらも交差感染を予防するための日常手洗いを主に論じています。

近年ガイドラインの影響もあって、ハンドハイジーン（HAND HYGIENE）を、手の衛生と訳されることが多いため、消毒剤を使用する手洗いと勘違いする向きもありますが。ハンドハイジーンは液体石けんと流水を用いた日常手洗いのことです。右記は本院と提携しているデューク大学メディカルセンターのポスターです。



手洗いの方法は大切なのは、手洗いの手順（6コマ）（別添参照）です。この6コマを正確に実施すれば手洗いミスは生じにくいのですが、自己流に洗うとどんなに時間をかけても手洗いミスが発生してしまいます。この操作が身につけていることが必要です。

次に大切なことは、洗った手の乾燥です。濡れた表面は乾燥している時に比べ、微生物が移動しやすく付着もしやすいためです。洗った手が濡れていると、病原体を拾い、それをどこまでも拡散させてしまいます。したがってドアノブ等が濡れると、簡単に交差感染が起きってしまうこととなります。洗った手を完全に乾燥させるためには、ペーパータオルを使用することが不可欠です。

### ペーパータオルを使用しての手の完全な乾燥方法

- ・流水での手洗い後、水はねしないように簡単に水分を払う。
  - ・2枚のペーパータオルを取り、ペーパータオルの乾燥した部分がなくなるように丁寧に水分をぬぐう。
  - ・次にもう1枚を取り、手首から手のひらまで全体の水分を丁寧にぬぐう。
  - ・不足があればもう1枚使用する。
- 3枚以上のペーパータオルを用いて手を完全に乾燥させる。



手洗いのタイミングは、業務開始時・終了時、食事の前、見た目に手が汚れているとき、通常の診察や介助の前後、一般清掃の後、手袋を外したとき、トイレの後で、手洗いをすべきかどうか迷ったときは手を洗う習慣をつけることも必要です。

感染予防対策の知識は習得しなければならない項目も多くあります。富山市民病院では地域連携先の医療機関も参加していただける形で年5回感染予防対策研修会を実施しています。繰り返し研修を受けていただき連携先医療機関も含めて感染予防対策の情報を共有していきたいと考えています。

## Contents

感染予防対策は手洗いから .....	1
研修・講演・勉強会のご案内 .....	2.3
3月の地域連携・開放型病床症例検討会報告 ...	3
地域連携・開放型病床講演会・懇親会を開催いたしました .....	4.5
診療所・病院・施設訪問.....	6
平成22年度の地域連携・開放型病床症例検討会を振り返って .....	7
地域連携学習会を終えて ～「透析療法における内シャント作成から管理まで」～ .....	7
医師不在のお知らせ.....	7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ ...	8
編集後記.....	8

1 . 地域連携・開放型病床症例検討会

4月

日時：4月12日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「新しい認知症治療薬」

精神科 長谷川 雄介

これまでアルツハイマー型認知症治療薬としてはドネペジルのみが国内で使用可能であった。海外ではすでにメマンチン、ガランタミン、リバスチグミンが使用されており、本邦でも承認が待たれていたが、今年に入り順次発売が決まっている。ドネペジルがアセチルコリンエステラーゼ阻害作用によりアセチルコリンの分解を減らし、神経伝達効率を上げるのに対しガランタミンはアセチルコリンエステラーゼ阻害作用に加

え、ニコチン性アセチルコリン受容体への感受性亢進作用を合わせ持つ。メマンチンはNMDA受容体拮抗作用により、カルシウムイオンの流入抑制による神経細胞の保護作用とシナプティックノイズの抑制を行う。リバスチグミンはパッチ製剤であり、アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に加え、非特異的コリン分解酵素であるブチリルコリンエステラーゼを阻害する。

症例検討

1) 腹痛・下肢浮腫・皮疹症例

紹介医：松岡内科胃腸科クリニック 松岡 利彦先生 消化器内科 樋上 義伸

2) 腰椎動静脈瘤の一例

脳神経外科 得田 和彦

5月

日時：5月10日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「硬膜外麻酔を利用した無痛分娩について」

産婦人科 三輪 正彦（麻酔科と産婦人科との共同演題）

2 . 内科CPC

日時：4月12日（火）17：30～

場所：医局カンファレンス室

3 . とやまレントゲン読影会

日時：4月15日（金）19：00～20：00

場所：集団指導室

興味のある症例の提示

4 . 乳腺エコー学習会（術後症例検討）

日時：4月19日（火）16：00～

場所：病理検査室

対象：医師、臨床検査技師、放射線技師、他

\* 前月手術された症例をエコー中心に検討します。

\* 日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。

5 . 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

日時：4月6日（水） 17：40～18：50

場所：講堂

テーマ「ケアに役立つ最新の感染管理の知識とスキル」

日時：4月20日（水） 17：40～18：50

場所：講堂

テーマ「これだけは押さえよう！薬剤の基礎知識」

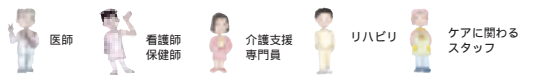
《衛生研修S-QUE 新医療看護連携》

日時：4月27日（水） 17：40～19：00

場所：講堂

テーマ チーム医療・地域連携  
「がん地域連携とチーム医療」

研修の横に対象となる職種マークをつけました。お気軽にお越し下さい。



地域連携・開放型病床症例検討会やとやまレントゲン読影会は、医師の方が対象です。その他については、医師以外の方々の参加も歓迎いたします。看護師や介護士、介護支援専門員の方の参加をお待ちしています。個々の内容についてのお問い合わせは、お気軽に地域医療連携室までお寄せください。

## 新任看護職員研修のご案内

当院では平成23年度採用の新人看護職員に対し、新任看護研修を実施いたします。地域の医療機関や施設に入職される看護職員の方に関しても当院職員と共に研修を受けていただければと考え、下記の通り計画いたしました。ご案内が遅くなり誠に申し訳ありませんが、参加を希望される場合は、**別紙参加申し込み用紙をふれあい地域医療センターまでFAX送信**していただきますよう、お願いいたします。募集は1研修に3名程度とさせていただきます。

なお、5月以降の研修に関しては、「れんけいと支援」や「当院ホームページ・研修案内」に掲載いたしますので、順次申し込んでいただくことも可能です。

### 1・研修内容と日時

場所：当院3階 講堂

	内容	開催日	時間	その他
1	静脈注射実践	4月6日(水)	13:00~17:00	講義・実践・ビデオ
2	環境調整技術	4月18日(月)	14:00~14:30	講義・実践
3	排泄援助技術	4月18日(月)	14:30~15:30	講義・実践
4	清潔・衣生活援助技術	4月19日(火)	13:30~14:30	講義・実践
5	食事援助技術	4月19日(火)	14:30~15:30	講義・実践
6	活動・休息援助技術	4月20日(水)	13:30~14:30	講義・実践
7	呼吸・循環を整える技術	4月20日(水)	14:30~15:30	講義・実践
8	与薬の技術(経口・外用)	4月22日(金)	13:30~14:30	講義・実践
9	与薬の技術(静脈・点滴など)	4月22日(金)	14:30~15:30	講義・実践
10	創傷管理技術	4月25日(月)	13:30~14:30	講義・実践
11	症状・生体機能管理技術	4月25日(月)	14:30~15:30	講義・実践
12	安楽確保の技術	4月27日(水)	14:30~15:30	講義・実践
13	感染防止の技術	4月27日(水)	13:30~14:30	講義・実践
14	レスピレーター研修	5月21日(土)	13:00~17:00	講義・実践
15	コミュニケーション技術	5月予定	13:30~14:30	講義
16	心電図	5月予定	9:00~11:30	実践
17	救急蘇生法	6月~7月予定	13:30~15:30	講義・実践

\* 新任看護研修に関するお問い合わせ  
(担当)看護部 古川美和子

T E L : (代)076 - 422-1112 (内線)2011

## 平成22年度 富山市民病院 地域連携・開放型病床講演会・懇親会を開催いたしました

今年度の「富山市民病院 地域連携・開放型病床講演会・懇親会」を下記のとおり行いました。第1部は、富山市救急医療センターの移転について、堀地医院 堀地肇院長先生からご講演をいただきました。富山市救急医療センターが移転しても輪番体制は変わらないこと、市民病院の高度な医療機器を活用することで救急センターの検査体制の充実が図られ、2次、3次救急へのコンビニ受診を回避することが期待できるとのことでした。

第2部は、地域の先生方と当院の医師、看護師、コメディカルとの懇親会でした。先生方との語りいで楽しいひと時を過ごしました。

なお移転後は、「富山市救急医療センター」の名称が「富山市・医師会急患センター」と改められることとなりました。

日 時：平成23年2月25日（金）19時30分～

会 場：ANAクラウンプラザホテル

第一部：講演会

講 演 「富山市救急医療センター移転について」

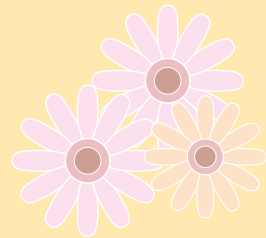
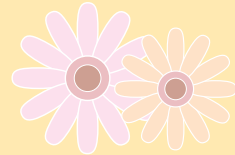
演 者 堀地医院 堀地 肇先生

第二部：懇親会



富山市救急医療センター完成予想図





## 《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 72 はやほし内科胃腸科クリニック

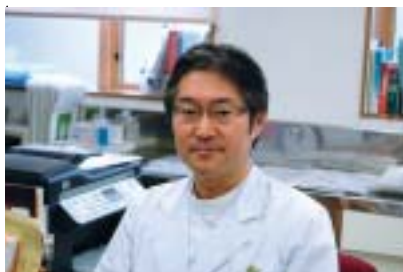
今回は「はやほし内科胃腸科クリニック」を訪問させていただきました。

名 称	はやほし内科胃腸科クリニック	
住 所	富山市婦中町速星377	
医 師	理事長 安村 昭芳先生	院長 中村 暁先生
標 榜 科	一般内科	一般内科 / 胃腸科
診察日・時間	平日 9:00~12:30 / 14:00~18:00 水曜日・土曜日 9:00~12:30 日曜・祝日・水曜日午後休診	
施設区分	無床診療所	

### 訪問記



はやほし内科胃腸科クリニック前景



中村 暁院長先生



中村院長先生と安村理事長先生 スタッフの皆様

3月初旬の雪のちらつく中、当院内科 大田医師と富山市婦中町で開業されている「はやほし内科胃腸科クリニック」を訪問させていただきました。時間外にもかかわらず、スタッフの方には温かく迎えていただきました。

5年前の開院時に旧安村医院の建物を改装されたそうですが、待合室のレモンイエローのソファーや大きな窓など、建物が全体に明るい雰囲気に含まれていました。現在は院長の中村 暁先生と理事長の安村 昭芳先生の医師2人体制で診療にあたっております。

院長先生は富山大学のご出身で、専門は消化器内科、特に胃腸疾患が多く、内視鏡検査が胃と大腸あわせて年間800件も行っており、検診の時期には件数が増えて大変とのこと。特に富山市の胃内視鏡検査やピロリ除菌治療に力をいれておられ、“がんの早期発見”と“つらくない内視鏡検査”をめざしておられるとのこと。

当院との医療連携においても多くの患者さんをご紹介いただいておりますが「ふれあい地域医療センターでの予約や救急対応がとてもスムーズでありがたく、感謝しつつも恐縮している」とうれしいお話をいただきました。

婦中町は県内でも人口増加の見られる数少ない土地柄ですが、八尾から山田村、砺波市にいたる広域圏で、遠方からバスで来院される高齢の方も多いそうです。

院長先生のご趣味は登山、ランニングで健康維持と気分転換には最高とか。昨年飛騨沢からの槍ヶ岳登山で体力の衰えを痛感し、ジョギングを開始。どんどん走れるようになるのが爽快で病みつきになり、今ではマラソン大会にもエントリーしておられるそうです。

医院には先生の撮った山の写真が飾られており、その美しさになるほどと思いました。

最後に「市民病院さんには急性腹症などの急性期疾患や画像診断で大変お世話になっています。今後もより良い医療連携がとれるようお互いに協力していきたいと思っております」とのお話を伺いました。

訪問の間、先生の優しく穏やかなお人柄に触れ、気さくにお話をさせていただいたことに感謝申し上げます。お忙しい中、訪問させていただきましたありがとうございました。

## 平成22年度の地域連携・開放型病床症例検討会を振り返って

平成22年度も年間を通じて地域の医療機関から延べ168名、院内から232名と多くの先生方にご参加いただきました。本年度も全科にわたり様々な症例とミニレクチャーを企画させていただきましたが、やはりテーマにより若干参加者数に変動がある印象を受けました。地域の先生方からは、『高度な医療機器を使わずに、プライマリーケアの中で行える疾患の診断や鑑別方法について教えてほしい』、『どのポイントで専門医に紹介すべきか教えてほしい』など、様々なご要望もいただいています。23年度はこのような、貴重なご意見を踏まえて、地域の先生方の診療に直接役立つ内容となるように努力して参りたいと思います。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

### 地域連携学習会を終えて

#### ～「透析療法における内シャント作成から管理まで」～

透析看護認定看護師 松木 理浩

2月24日（木）17：45より当院の呼吸器血管外科医師、腎・高血圧内科医師、院内腎不全エキスパートナース、透析看護認定看護師が講師となり学習会を行いました。地域の医療機関や訪問看護ステーションより医師1名、看護師17名、院内スタッフ39名の参加がありました。

“内シャントについて”の内容で、手術をする医師、透析療法を実施する医師、それに関わる看護師それぞれの立場から、講演を行いました。地域医療機関の参加者からは、シャントマッサージの効果や効果的な方法についてなどいくつもの質問があり、透析療法に関する関心の高さがうかがえました。そして内シャント作成から手術後透析療法を導入、維持していくなかで必要な知識を共有する機会となりました。

今後も腎臓病に関連した新しい情報や困難事例などについての学習会を定期的開催したいと考えております。今回透析療法に関わるスタッフとして患者さんが安全かつ安心した医療・看護が受けることができるための学習の機会にできたと感じています。

## 医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

4月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	22日	石浦	外科	11日	福島
	25日、26日、27日	大田		5日	野島
	8日	山本		20日	吉川
	20日、21日、22日	水野		8日	天谷
	22日	高櫻		26日	寺井
呼吸器・血管外科	19日、21日	草島	小児科	4日、6日	橋本
	19日、21日	関		皮膚科	15日
整形外科・関節再建外科	5日	澤口	脳外科	1日	山野
	4日、5日、7日、11日	島		麻酔科	5日

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。



## 認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ



### 集中ケア看護 エキスパートナース編

集中治療科（ICU）・高度管理治療科（HCU）は、循環器疾患、呼吸不全、多臓器不全など重篤な病態の患者さん、外科や脳神経外科のハイリスクな手術後の患者さんなどを受け入れています。そして高度な医療体制を整え集中的に治療・看護を提供しています。

私たち集中ケア看護エキスパートナース4名は、ICU・HCUにおいて専門的な幅広い知識と技術を身に付け、身体的・精神的な看護を患者さんとそのご家族に提供できるよう努めています。スタッフ全員が質の高い看護技術を継続して提供できるよう支援したり、人工呼吸器研修会では、新人看護師や地域の医療従事者の方々へ吸引や口腔ケアの方法を説明しサポートしています。



ICU・HCU入室中は意識障害があり循環動態や呼吸状態が不安定で重篤な状態だったのに、退院時に「元気になりました」とわざわざ挨拶をしに寄ってくださった時は大変嬉しく感じます。1人でも多くの患者さんを救命し、その人らしい姿に回復できるように、今後も高度医療における看護の質の向上をめざして活動していきたいと思っています。

## 編集後記

3月11日、マグニチュード9.0という日本の観測史上最大の東北地方太平洋沖地震が発生しました。日を追うごとに被害状況が明らかとなっていく中、ふれあい地域医療センター内でも「富山でも、私たちにできることから」という言葉が聞かれています。

発生当日より、当院のD-MATが派遣され、現地での医療救護活動にあたりました。当院は災害拠点病院であり、その果たすべき役割の重要性を改めて感じると共に、同じ日本国民として、今こそ力を合わせるべきではないかと思えます。

家族や地域関係が希薄となっている現代社会において、このような局面だからこそ「連携力」が必要とされています。「私たちに何ができるのか」を問い続けることが、支援の大きな力につながっていくのではないかと考えています。

ふれあい地域医療センター看護師 塩澤 まゆみ



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>  
がん・なんでも相談室：メールアドレス [shien@tch.toyama.toyama.jp](mailto:shien@tch.toyama.toyama.jp)